



こまきの小牧野遺跡

青森市 約4,000年前
史跡指定／1995年



複数の環で構成された環状列石



縦横交互に並べられた組石



400点以上見つかった三角形岩版

精神文化を伝える巨大な環状列石

優れた土木技術により作られた完成度の高い環状列石を中心とした遺跡です。環状列石は3重の環で構成され、さらにその外周には4重目の環を成す部分が配置されており、全体で直径約55mの大きさです。

たて穴住居跡や土坑墓なども見つかっており、また、土偶や三角形岩版などマツリに使われたと考えられる道具も見つかっています。



環状列石の環は、平らな石が縦横交互に規則正しく並べられています。このような造りの列石は全国的にも珍しく独特なものです。

Q&A

**環状列石の石は
どこから運んだの？**

A 現在見つかった約2,900個のほとんどが安山岩で、遺跡から東に500m～1km程離れた堤川上流の一带から運ばれたものと考えられます。1個あたりの平均重量は約10.8kgです。

**環状列石の用途は
何だったの？**

A 環状列石の内側には、多くの人が集えるような広さ約500㎡の広場があり、「祭祀場」の性格を持っていたと考えられます。また、埋葬用の土器も見つかっており、墓地としても使われました。



環状列石中央の広場

関連展示施設

縄文の学び舎 ・小牧野館

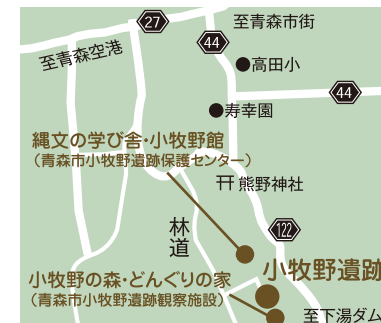


閉校した旧野沢小学校の校舎を活かした展示収蔵施設です。出土品やパネルにより遺跡の発掘調査の成果や縄文人の暮らしなどをわかりやすく紹介しています。

**ここに
注目！**

発掘体験コーナーや土器復元コーナー、ストーンヘンジの一部の実物大模型などがあり、大人も子どもも楽しく学ぶことができます。

開館日時 9時～17時 年末年始休館
入館料 無料
住所 青森市野沢沢部108-3
電話 017-757-8665



【遺跡に関するお問い合わせ】
青森市教育委員会文化財課
TEL 017-761-4796